

利尻島におけるミズカマキリ類2種 (*Ranatra chinensis*, *Ranatra unicolor*) の初記録 (カメムシ目: タイコウチ科)

森井悠太¹⁾・佐藤雅彦²⁾・小川直記³⁾

¹⁾ 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 東北大学大学院生命科学研究科

²⁾ 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

³⁾ 〒060-8589 札幌市北区北九条西9丁目 北海道大学大学院 昆虫体系学研究室

The First Records of Two Species of the Water Scorpions, *Ranatra chinensis* and *Ranatra unicolor* (Hemiptera: Nepidae) from Rishiri Island, Northern Hokkaido, Japan

Yuta MORII¹⁾, Masahiko SATO²⁾ and Naoki OGAWA³⁾

¹⁾ Graduate School of Life Sciences, Tohoku University, Kawauchi 41, Aoba-ku, Sendai, Miyagi, 980-8576 Japan

²⁾ Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

³⁾ Systematic Entomology, Graduate School of Agriculture, Hokkaido University, Kita-9-Jo, Nishi-9-Chome, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-8589 Japan

Abstract. Two species of the water scorpions, *Ranatra chinensis* and *R. unicolor* (Hemiptera: Nepidae) were collected for the first time on Rishiri Island, northern Hokkaido, Japan. These are also the northernmost distribution records for these two species in Japan.

Keywords: Nepidae, Ranatrinae, northernmost distribution, Rishiri Island

はじめに

ミズカマキリ類はタイコウチ科 Nepidae ミズカマキリ亜科 Ranatrinae に属する水生の半翅目昆虫である。日本には3種が分布し、棒状の細長い身体により、他のタイコウチ科の種群とは容易に区別できる (川合・谷田, 2005)。日本に分布する3種のうち、マダラアシミズカマキリ *Ranatra longipes* Stal, 1861 は、日本では南西諸島にのみ生息する南方の種であるが、その他の2種、ミズカマキリ *R. chinensis* Mayr, 1865 とヒメミズカマキリ *R. unicolor* Scott, 1874 は、いずれも日本全土に広く分布する (川合・谷田, 2005)。しかし、北海道内の両種の採集記録は多くなく、特に道北における

分布状況はほとんどわかっていない (図1; 環境省自然環境局生物多様性センター, 2002)。利尻島でも、ミズカマキリ、およびヒメミズカマキリが採集された記録はないと思われる (図1; 環境省自然環境局生物多様性センター, 2002)。

発見の経緯

2005年9月26日、利尻島西部の杓形市街地においてミズカマキリ類の成虫1個体が発見され、利尻町立博物館に持ち込まれた (図2-A)。本個体は体長 (呼吸管を除く) が42.0mm と大型であること、呼吸管が前翅より長いこと、前脚腿節に1本の顕著な刺があることから、ミズカマキリ *R.*

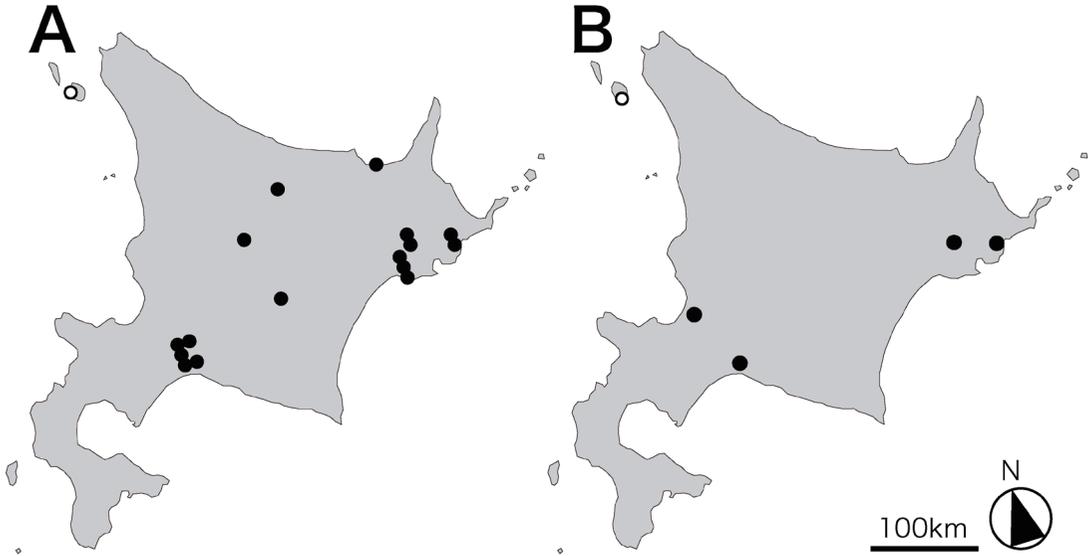


図1. 北海道内におけるミズカマキリ (A), およびヒメミズカマキリ (B) の分布. 黒丸, 主な既知の産地 (環境省自然環境局生物多様性センター, 2002; 保田, 2014); 白丸, 本研究での新産地.

chinensis であると同定した (図3-A; 川合・谷田, 2005). 一方, 著者である森井と佐藤は, 2014年6月28日に, 利尻島南部の湖沼群における淡水産貝類相調査中に, 水中を遊泳しているミズカマキ

リ類1成虫を発見し, 採集した (図2-B). 体長が27.7mmと小型であること, 呼吸管が前翅より短いこと, 前脚腿節の突起が歯状であることから, ヒメミズカマキリ *R. unicolor* と同定した (図3-B;

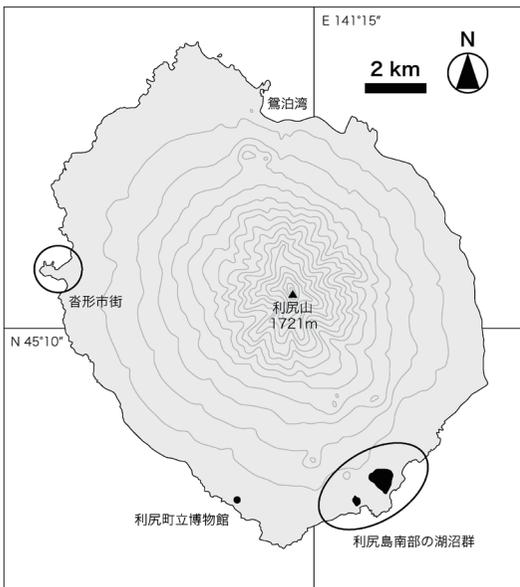


図2. ミズカマキリ, およびヒメミズカマキリの採集地.

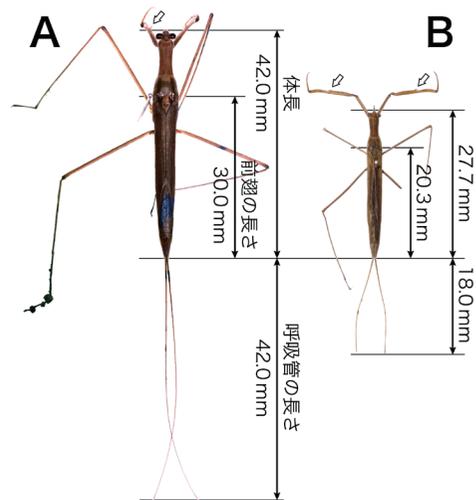


図3. 採集されたミズカマキリ (A), およびヒメミズカマキリ (B). 白い矢印は, 前脚腿節にある刺の位置を示している.

川合・谷田, 2005).

議論

2005年および2014年に得られた2個体のミズカマキリ類の標本によって、利尻島から初めて2種のミズカマキリ類が確認された。この記録は、日本における両種の北限記録であり、北海道北部ではこれまでほとんど記録のなかった2種の分布域の認識を大きく変更するものであると言える。ミズカマキリやヒメミズカマキリは、日本だけでなく、朝鮮半島、極東ロシア、中国などにも広く分布しており(川合・谷田, 2005)、ミズカマキリについては、夏期の日中に頻繁に飛翔移動することが知られている(川合・谷田, 2005)。今後、本属を対象としたより詳細な島内湖沼における調査が行われることが望まれる。

謝辞

ナガオカジュンヤ氏には、貴重な標本を提供していただいた。神戸崇博士(北海道大学農学部)、小松貴博士(九州大学熱帯農学研究センター)には、論文の執筆にあたりご助力をいただいた。この場を借りて、厚く御礼申し上げる。なお本研究は、平成26年度利尻島調査研究事業の助成を受けて行われた。

引用文献

- 環境省自然環境局生物多様性センター, 2002. 生物多様性調査 - 動物分布調査・昆虫(セミ・水生半翅)類報告書. 山梨. 138pp.
- 川合禎次・谷田一三, 2005. 日本産水生昆虫 - 科・属・種への検索. 東海大学出版会. 秦野. 1342pp.
- 保田信紀, 2014. 大雪山昆虫誌. 北海道自然史研究会. 札幌. 513pp.